

# 日本TDM学会 第58回TDMセミナー

【日時】 2020年2月22日(土) 13:00~18:00 (12:30受付開始)

【場所】 岐阜薬科大学 2階 大学院講義室(WS)、第2講義室(講演)

【登録】 『初学者のための症例ワークショップ』は事前登録制:定員56名(先着順)

11月27日(木)12時より下記URLもしくはQRコードより登録してください。

教育講演のみの参加は登録不要です。

【申込先】 <https://forms.gle/xm7b2DZDE77wNuaH7>

【参加費】 日本TDM学会会員(無料) 学生(無料) 円

非会員(全日程:1,000円、教育講演のみ:500円)



## 【開会の挨拶】 13:00~13:05

三浦 崇則 先生 (安城更生病院教育研修センター:日本TDM学会教育委員長)

## 【初学者のための症例ワークショップ】 13:05~16:50

ファシリテーター : 北市 清幸 (岐阜薬科大学 薬物動態学研究室)

チューター : 穂積 廣 先生 (名古屋共立病院 薬剤部)

チューター : 万塩 裕之 先生 (安城更生病院 薬剤部)

チューター : 三浦 崇則 先生 (安城更生病院 教育研修センター)

## 「感染症患者に対する薬物モニタリング」

本セミナーは、患者個々に設定した治療のゴールを達成するために薬物動態学的なアプローチを提案します。

症例の情報整理や薬学的プロブレムの整理、それを評価するプロセスの構築や薬物動態パラメータと病態を結びつけて考えられるイメージカのトレーニングを目標としています。TDMを血中濃度シミュレーションとしてではなく、患者の問題解決スキルとして活用できるようワークショップ形式でそのスキルを磨いていきます。

※第56回セミナー(19/2/16)と内容は同じですが、ブラッシュアップしたものとなります。

## 【教育講演】 17:00~18:00

座長 北市 清幸 (岐阜薬科大学 薬物動態学研究室)

## 『製薬企業勤務経験と薬学部教育から考えるTDM』

講師 丹羽 俊朗 教授 (就実大学 薬学部)

## 【閉会の挨拶】

三浦崇則 先生 (安城更生病院教育研修センター:日本TDM学会教育委員長)

※日本薬剤師研修センター単位または日本病院薬剤師会研修単位認定(V-1 3単位、検討中)

教育講演のみの参加の場合、単位は交付できません

共催: (一社)日本TDM学会  
後援: (一社)岐阜県病院薬剤師会(依頼済)  
(一社)岐阜県薬剤師会(依頼中)  
岐阜薬科大学

問い合わせ先  
岐阜薬科大学薬物動態学研究室 北市清幸  
TEL:058-230-8118(代)、FAX:058-230-8106(代)  
kitaichi@gifu-pu.ac.jp